

# 生命倫理と学校図書館活用

—科目間連携と学校図書館の連携で、考え方が深まる—

東京学芸大学附属高等学校  
公民科教諭・司書教諭  
加納隆徳

# 生命倫理教育の課題

- 高等学校公民科の「現代社会」では、学習指導要領において「現代社会における諸課題」としては、生命、情報、環境などを扱うこと。」を定めており、この場所において「生命」にかかわる授業が行われている。
- 授業での取扱いが求められる一方で、生命倫理に関わって、以下の課題がみられる。
  - ・ 論争点多すぎて、生徒に理解させるのが難しい。
  - ・ 生物分野について解説が難しい  
(発展的記述がおおい。)
  - ・ 教員自身も多様な価値観を理解するのが大変である。

# SSHと特講「科学の方法」①

- 本校のSSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業では、トランスサイエンス的な視点を取り入れた科目間連携を多く行っています。

例) 物理の論理・国語の論理（物理・国語・英語）  
ものの見え方（生物・数学）  
情報の表現と伝達（数学・情報）  
本校建物と工芸（日本史・工芸）

- 公民科はそのなかでも、社会問題を取り扱う関係上、多くの特講「科学の方法」授業作りに協力しています。

# SSHと特講「科学の方法」②

- 公民科と他教科とのコラボ授業
  - 1) 著作権を考える（情報科と協同）  
著作権のありかたを情報科と公民科から考える授業
  - 2) ダイオキシンと地球温暖化（化学科と協同）  
化学から問題点とその対策している状況を考えさせた
  - 3) 原発問題を考える（国語・物理と協同）  
原発再稼働問題を物理・公民科の視点で考えさせた
  - 4) リスク社会と防潮堤（地学と協同）  
防潮堤を建設するかどうかを合意形成させる授業
  - 5) 生命倫理（生物と協同）  
⇒今回紹介する授業

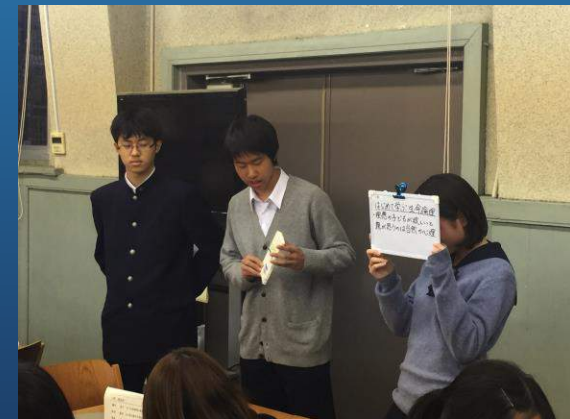


# 生命倫理の授業を興味深くするために

- 問題意識をどうもたせるのか？

↓ 理科（生物）の教員と打ち合わせ

- ある一つの問題に焦点をしぼる  
着床前診断技術を用いた胚選択  
（デザイナーベイビー問題）
- 授業の方法として  
ロールプレイ、  
討論（合意形成）、  
本紹介などを組み合わせた授業



# 授業案

	内容
1 時間目	デザイナーベイビーの問題点 「救世主兄弟の存在と倫理的問題」
2 時間目	本紹介をしてみよう！ 【図書館授業】 指定された本を読み込み、そして紹介をしよう
3 時間目	ロールプレイによる合意形成 与えられた役割による話し合い・合意形成を目指そう
4 時間目	ルールを見直して、よりよい生命倫理を考えよう 生命倫理の法化は何を意味するのか？

# 本のリスト化

- 本校司書の岡田さんに生命倫理に関わる資料探しを依頼。基本的には、生徒が読めるもの。また、難しくても生命倫理に関わるような本。という形でお願いをした。
- 国立女性会館からの貸出をうけて、図書館に本を置いて頂いた。



# 授業について【学校図書館授業】

班ごとに本を指定し、救世主兄弟にかかわる論点を調べさせる。  
一冊、本を選び、その本を紹介する。

## 書名（班ごとに指定書籍あり）

19 はじめて学ぶ生命倫理	3 生まれてはならない子として
25 女の子のための愛と性の生命倫理	21 いのちの始まりの生命倫理
34 子どもの医療と生命倫理	31 生命倫理の源流
50 生殖医療と法	41 この国で産むということ
26 その規範を動かすもの	20 命は誰のものか
28 優生政策の系譜	22 医療倫理の歴史
35 子どもの医療と法	24 日本の生命倫理
51 出生前診断の法律問題	33 いのちと向き合う看護と倫理

このほか3つの班が別々の本を読んだ。



# 本を読み合い、紹介しあう



# 教員からもアドバイスをもらう



班ごとに本を読み合う

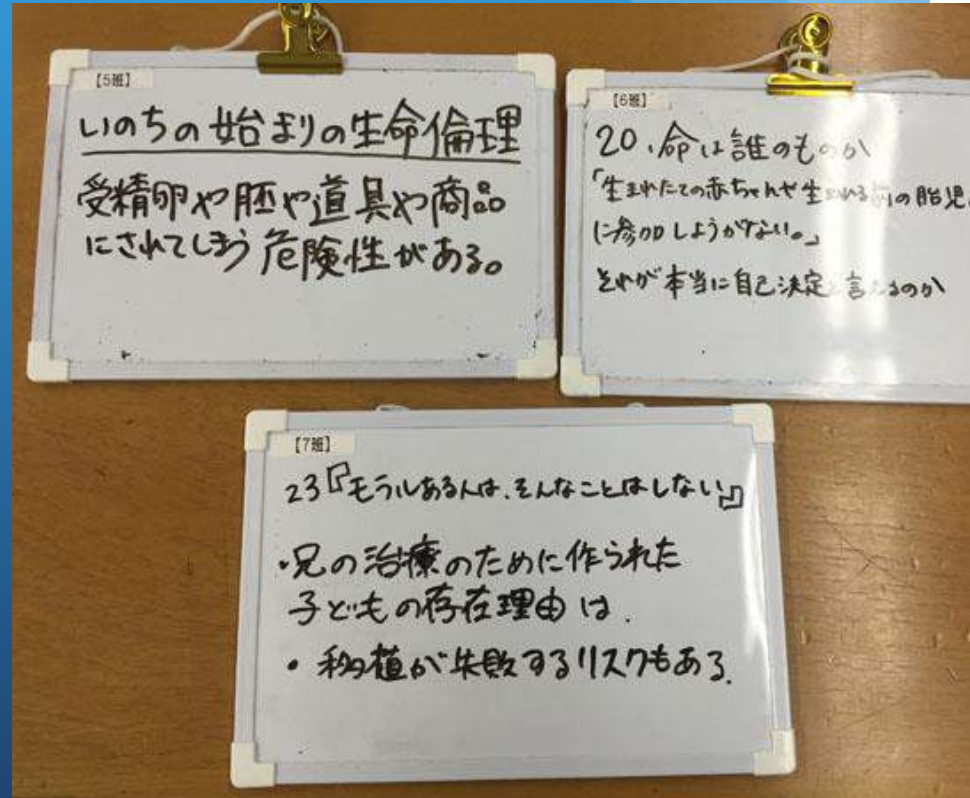
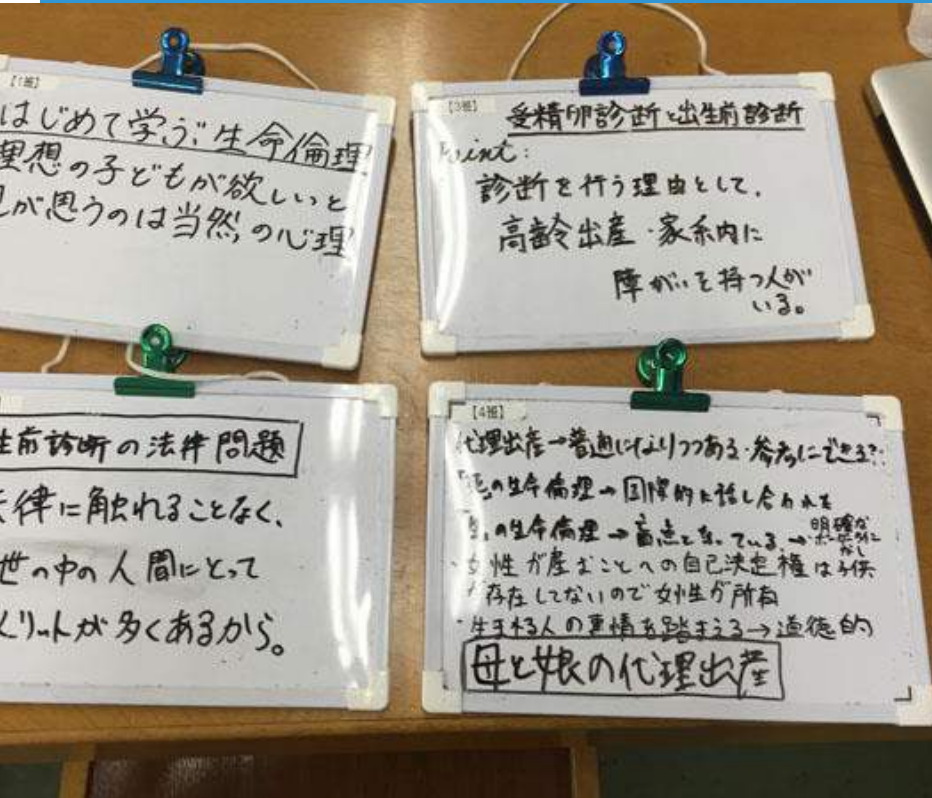
# 班代表がみんなの前で発表する



# ボードに意見をまとめ...



# 生徒たちが書いたボード



# ホワイトボードに貼り付け、解説



# 授業後は...

- 自分たちで考えつかなかった立場や考え方を学ぶ事ができた。
  - 賛成と反対という立場が、最初から固定されていたので、どのように読み取れば良いのかが分かりやすかった。
  - 生命倫理に関わる書籍が多くあることをしり、問題の複雑さが分かった。
- ⇒その後の、ロールプレイ授業の事前学習として大いに役に立ったものになった。

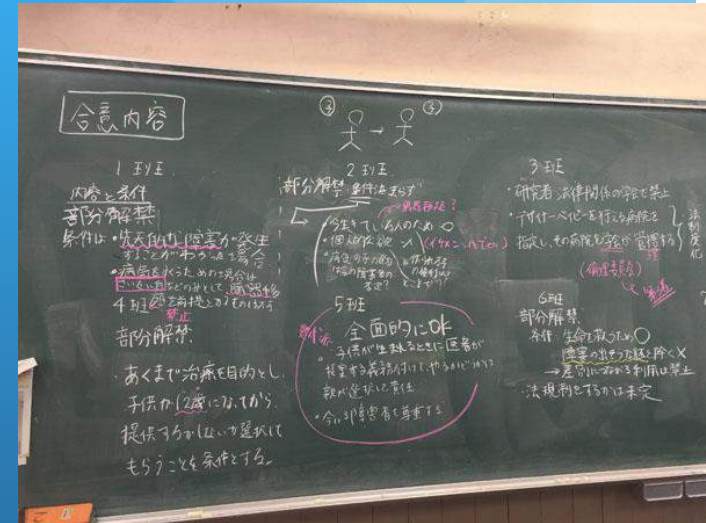
# その後の授業（合意形成授業）

- ロールを設定し、話し合いを行った。
  - ◎ルール（役割）
    - ・ 厚生労働省の公務員
    - ・ 研究者（医学分野）
    - ・ 救世主兄弟を希望している親
    - ・ 都道府県の医療保険担当者
    - ・ 宗教家
    - ・ 障害者団体の代表 など
- 合意形成に向けて話し合いを行った。
- 合意内容については、次回に話をもちこした。

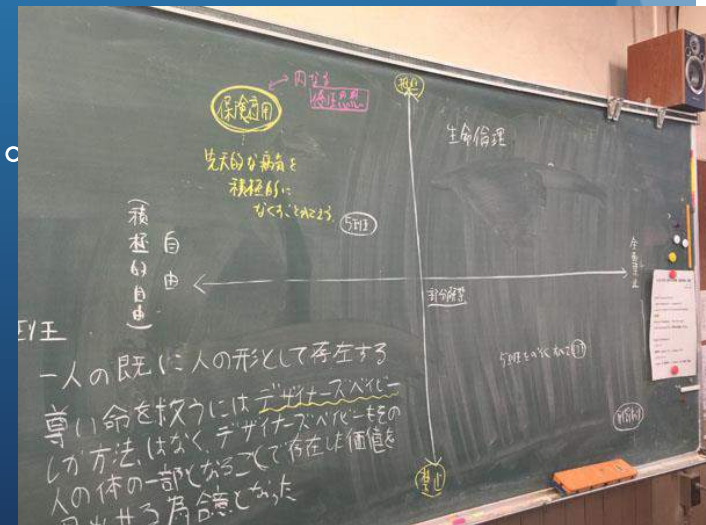


# 授業（ルールの振り返り）

- 合意形成の結論をまとめてみよう。



- 合意形成の内容を振り返ろう  
⇒生命倫理の法化について考える。



# 図書館利用は良質な問いから生まれる

- 今回の図書館授業が良かった点は、生徒にとって「良い問い」があったから。
- 今回の問いは、実社会でも検討されている問題であり、容易に合意形成を行う事が難しい。
- そのために様々な意見に触れることが必要。
- 最終の期末テストにおいては、図書館で調べた本のことを感想に書いていたものがいた。
- 司書の本選定のおかげで今回の実践ができました。